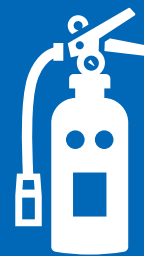


消火器のメーカーや型式によって、安全栓や本体の表示などが異なりますので、設置されている消火器の説明書等を参照しながら点検してください。



1 表示

「製造年」を確認しましょう。

「製造年」から5年を超えていない

はい

いいえ

自ら点検を実施
(詳しくは本パンフレットをご覧下さい)

本パンフレット記載の点検に加え消火薬剤、消火器内部の点検が必要です。
・消防設備業者等に依頼する
・消火器を買替える等

製造年 2019年

2024年中であれば

【例】製造年2019年▶「はい」

2 本体容器

変形・損傷や消火剤の漏れなどありませんか？

●溶接部の腐食・サビに注意

ここでの腐食・サビを要チェック

底部の腐食

著しい腐食

消火薬剤の漏れ

3 安全栓の封

破れたり、はがれたりしていませんか？

安全栓

安全栓の封

指定圧力計

レバー支え

封紙良好

封紙の破損

4 安全栓

変形や損傷なく、しっかりと装着されていますか？

安全栓の抜けかけ

安全栓の脱落

レバー支えの脱落

5 使用済みの表示装置

使用済になっていませんか？

未使用状態

使用済になっている

【例】 封 腐 LOCK OK GOOD 可 封

6 レバー

変形や損傷がありませんか？

●変形していると握り込めず、いざという時に使用できません。

上レバー

下レバー

変形

※使用済みの表示装置がない機種もあります。

7 キャップ

しっかりと締まっていますか？

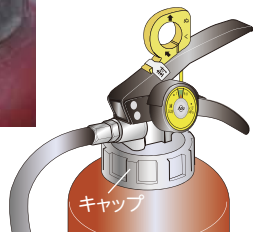
- 粉末消火器は特に注意しましょう。



✗
キャップの破損



✗
キャップの劣化



9 ノズル・ホーン・ノズル栓

変形・損傷・老朽化・内部の詰まりをチェック！
ホースとしっかりつながっていますか？

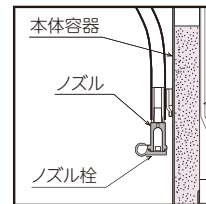
- ノズル栓にはさまざまなタイプがあります。



○
ノズル及びノズル栓



✗
ノズルの破損



ノズル栓ゴム栓タイプ

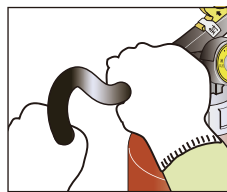
8 ホース

変形・損傷・老朽化・内部の詰まりをチェック！
本体にしっかりと接続されていますか？

- ホースのヒビに注意しましょう。
- ゴムの劣化に注意しましょう。



✗ 緊結ネジの破損
ホースの脱落



ホースの点検方法
たわませてホースの状態をチェック

10 指示圧力計

指示圧力値は緑色範囲内ですか？
変形・損傷などはありませんか？



○
指示圧力値 良好



✗
指示圧力値 不適



✗
指示圧力計の損傷

消火器の設置ルールを守りましょう

A 設置場所

必要時すぐに持ち出せる場所に設置していますか？

床面から1.5m以下の場所に設置していますか？

- 水のかかる位置に設置していませんか？
- 厨房での床面、作業場の地面等への直置きは避け、壁掛け又は設置台、格納箱へ設置しましょう。

C 適応性

消火器に設置場所に適応する表示マークがありますか？

- 普通火災：建物その他の工作物の火災
- 油火災：引火性の液体等の火災
- 電気火災：通電中の電気設備等の火災



普通火災用

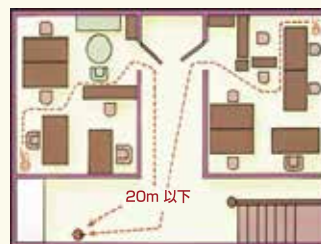


油火災用



電気火災用

B 設置間隔



階ごとに建物の各部分から消火器まで
歩行距離20m以下になるように設置していますか？

D 標識

消火器の設置場所に「消火器」の標識を見やすい位置に付けていますか？
損傷・破損・脱落・不鮮明なものはありませんか？

外国人来訪者等にもわかりやすい案内図記号を標識に代えることができる場合があります。



✗ 標識の破損



✗ 標識の破損



消火器の案内図記号



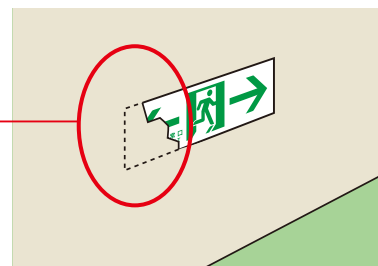
火災が発生した際に、避難口や避難すべき方向に適切に誘導することを目的とした設備です。
点検可能な設備は、配線等の点検が不要のもの（蓄光式のもの及び電気エネルギーにより光を発するものを除く）に限ります。

1 状態

変形、損傷、脱落、著しい汚損等がないこと。



標識の一部が欠けている

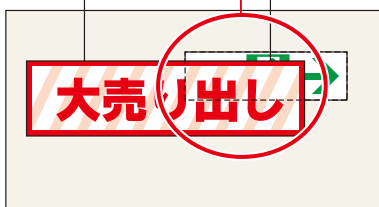


2 設置場所

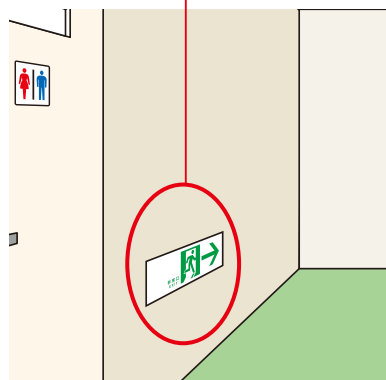
所定の位置に設置されており、間仕切り、
広告物、装飾等による視認障害がないこと。



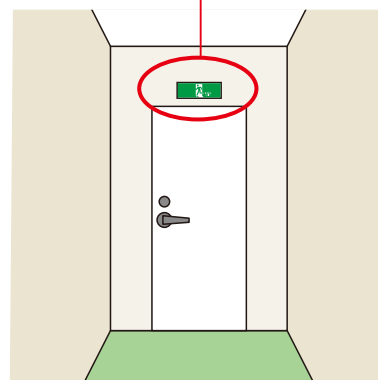
広告物が視認を
遮っている



行き止まりの方向に
誘導している



避難口の直上適切な
位置に設置されている

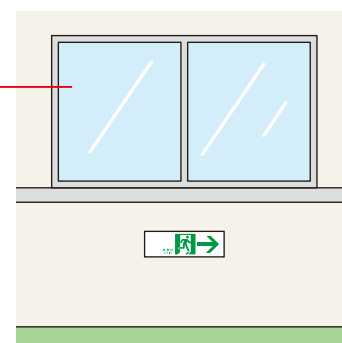


3 識別

識別に十分な明るさがあること。



識別に十分な採光がある



誘導標識点検票の記入要領



●その1

別記様式第16 (その1)

誘導灯及び誘導標識点検票

名称	〇〇〇店		防火管理者							
所在	〇〇市〇〇町 123-45		立会者	消防太郎						
点検種別	機 器	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日							
点検者	氏名	点検者社名	TEL 〇〇〇店 123-4567-8900							
	消防太郎	所属会社	住所 〇〇市〇〇町 123-45							
点検項目	点検結果		措置内容							
	種別・容量等の内容	判定			不良内容					
機 器 点 検										
誘 導 灯	外箱・表示面	種 類								
		視認障害等								
		外 形								
	非常電源 (内蔵型)	外 形								
		表 示								
		機 能								
	光源									
	点検スイッチ									
	ヒューズ類									
	結線接続	外 形								
結線接続										
番号	外 形									
	結線接続									
装置	外 形									
	機 能									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

正常の場合は○、不良があった場合は、不良の誘導標識の枚数を記載する

●その2

別記様式第16 (その2)

誘導灯及び誘導標識

誘 導 標 識	外 形	1枚				×	※1備考に記載	※1備考に記載	
	視 認 障 害 等	1枚				×	※2備考に記載	※2備考に記載	
	採 光 又 は 照 明					○			
	※表示面の輝度								
	※設置場所の照度								
	※※ヒューズ類								
	※※結線接続								
	※※※非常電源	外 形							
		表 示							
		機 能							
備 考	<p>※1 不良項目：外形 【不良内容】はく離していた。 【措置内容】誘導標識を交換した。</p> <p>※2 不良項目：視認障害 【不良内容】視認をさえぎる広告物があった。 【措置内容】視認をさえぎる広告物を除去した。</p>								
	測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号ハ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号5に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。
 7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発生する誘導標識に限る。
 8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発生する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。